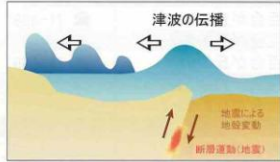
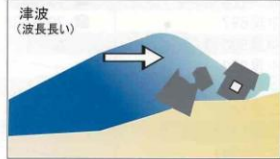


津波とは

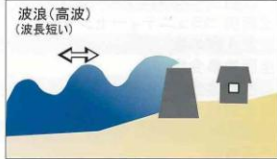


津波は、地震に伴う海底の隆起や沈降などにより、その上の海水が押し上げられ四方に広がる波です。通常の波浪（高波）と異なり、大規模なものは大きな破壊力を持っています。

参考：気象庁ホームページ



津波は巨大な水の塊となり、陸上のものを破壊しながら一気に進みます。



波浪（高波）は津波と同じ高さでも波長が短く、波の力は小さいため、沿岸で止まります。

津波注意報・警報

予報の種類	解説	発表される津波の高さ	
津波警報	大津波	高いところで3m以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してください。	3m、4m、6m、8m、10m以上
	津波	高いところで2m程度の津波が予想されますので、警戒してください。	1m、2m
津波注意報	津波注意	高いところで0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください。	0.5m

地震・津波情報の伝達方法

地震発生時はサイレン、広報車、テレビ・ラジオ、メール配信サービス等で情報を入手し、素早く高台等へ避難しましょう。



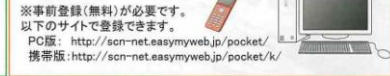
広報車



テレビ、ラジオ



メール配信サービス



◎ 海岸近くで地震を感じたら直ちに避難

強い地震や長い時間の揺れを感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。

◎ 揺れが小さくても油断しない

感じた揺れ（震度）と地震の規模（マグニチュード）は別です。小さな揺れでも大きな津波になることもあるので決して油断してはいけません。

◎ 津波は繰り返し襲ってきます

津波は繰り返しやってくるので、警報、注意報が解除されるまで気をゆるめてはいけません。

津波の高さは、第1波よりも第2波以降の方が高くなることもあります。

◎ 津波のスピードは

津波の伝わる速さは時速数百kmになる場合があり、津波が見えてからでは逃げきれません。

◎ 正しい情報で冷静な行動を

テレビやラジオ、防災無線などで正しい情報入手し、冷静な行動をとりましょう。

避難時持ち出し品

いざというときにすぐ持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。



避難時の心得

安全な避難経路の確認を

避難所までの経路（避難経路）は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。



非常持ち出し品の事前準備を

避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。



正確な情報収集と自主的避難を

ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときには、役場や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。



避難する前に

避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難所を確認しましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。



速やかに避難しましょう

避難勧告などは、危険が迫ったときに発表されますので、速やかに避難しましょう。避難の際には警察などの指示に従いましょう。



お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子供、病気の人は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。



動きやすい格好、2人以上での避難

避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。



津波ハザードマップより(平成22年3月、全戸配布)